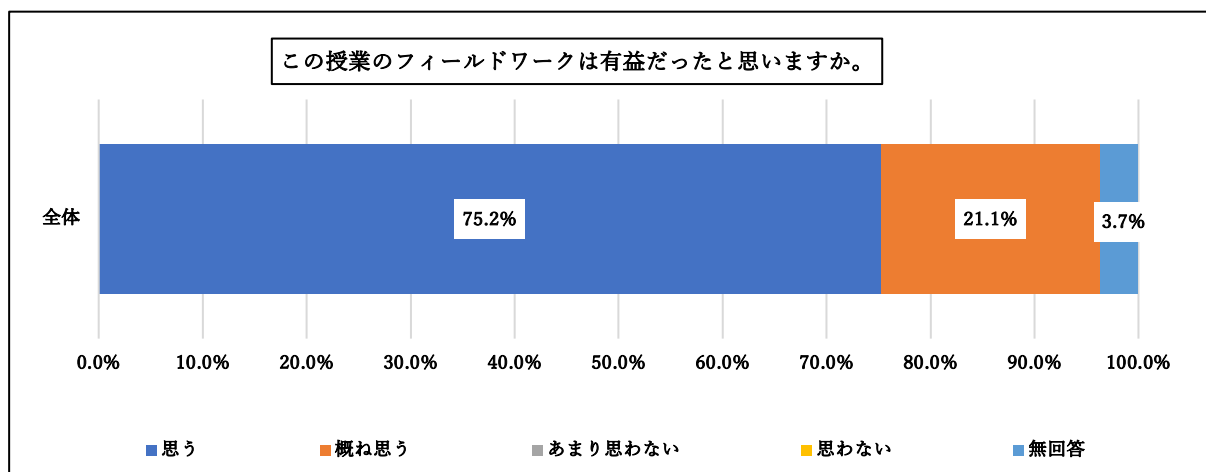
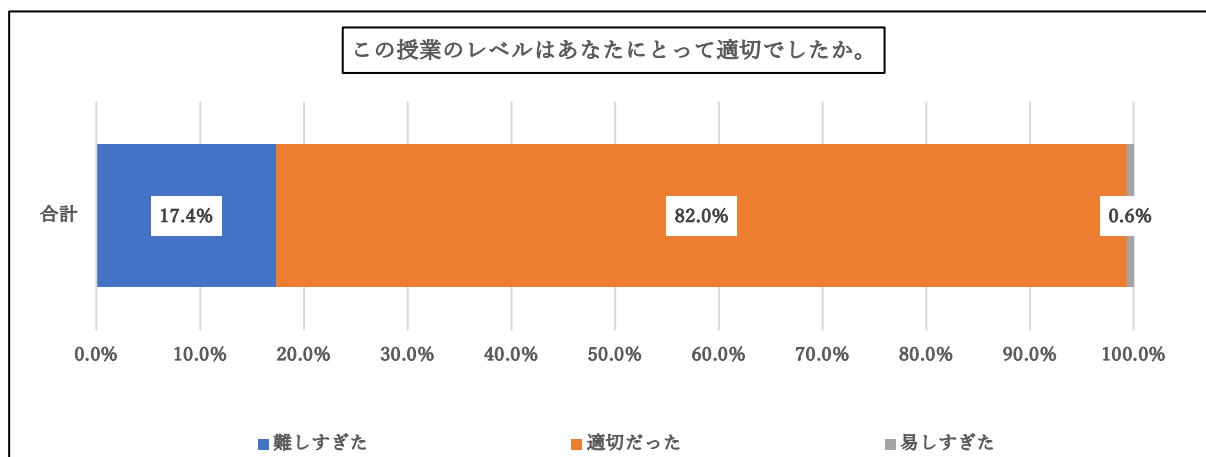
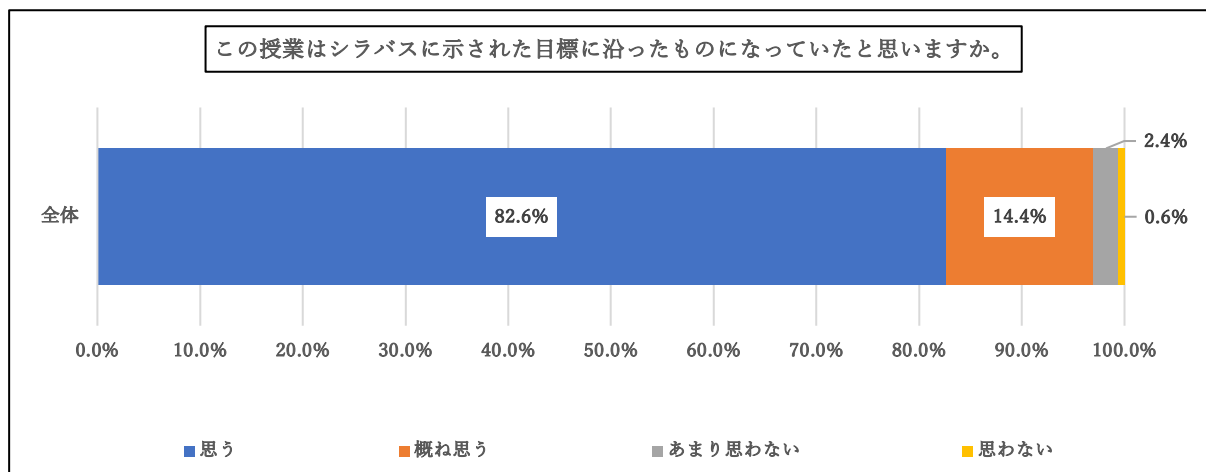
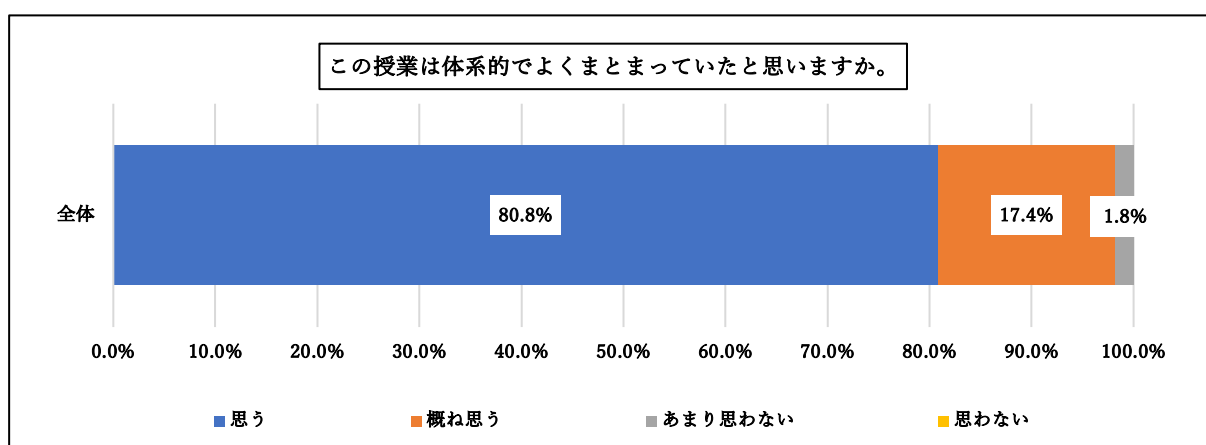
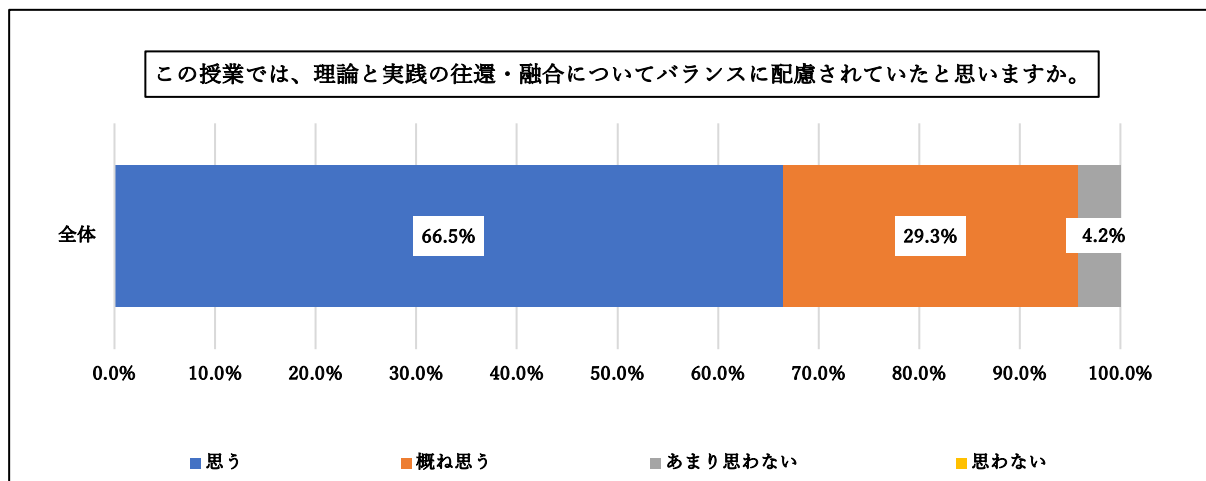


2023 年度春学期「授業アンケート」

授業アンケートの結果

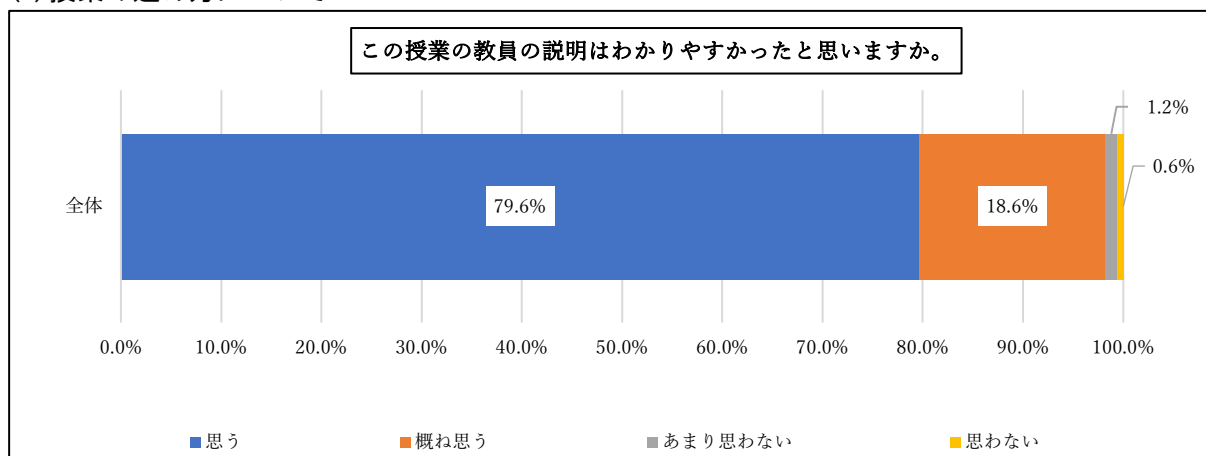
(1) 授業内容について

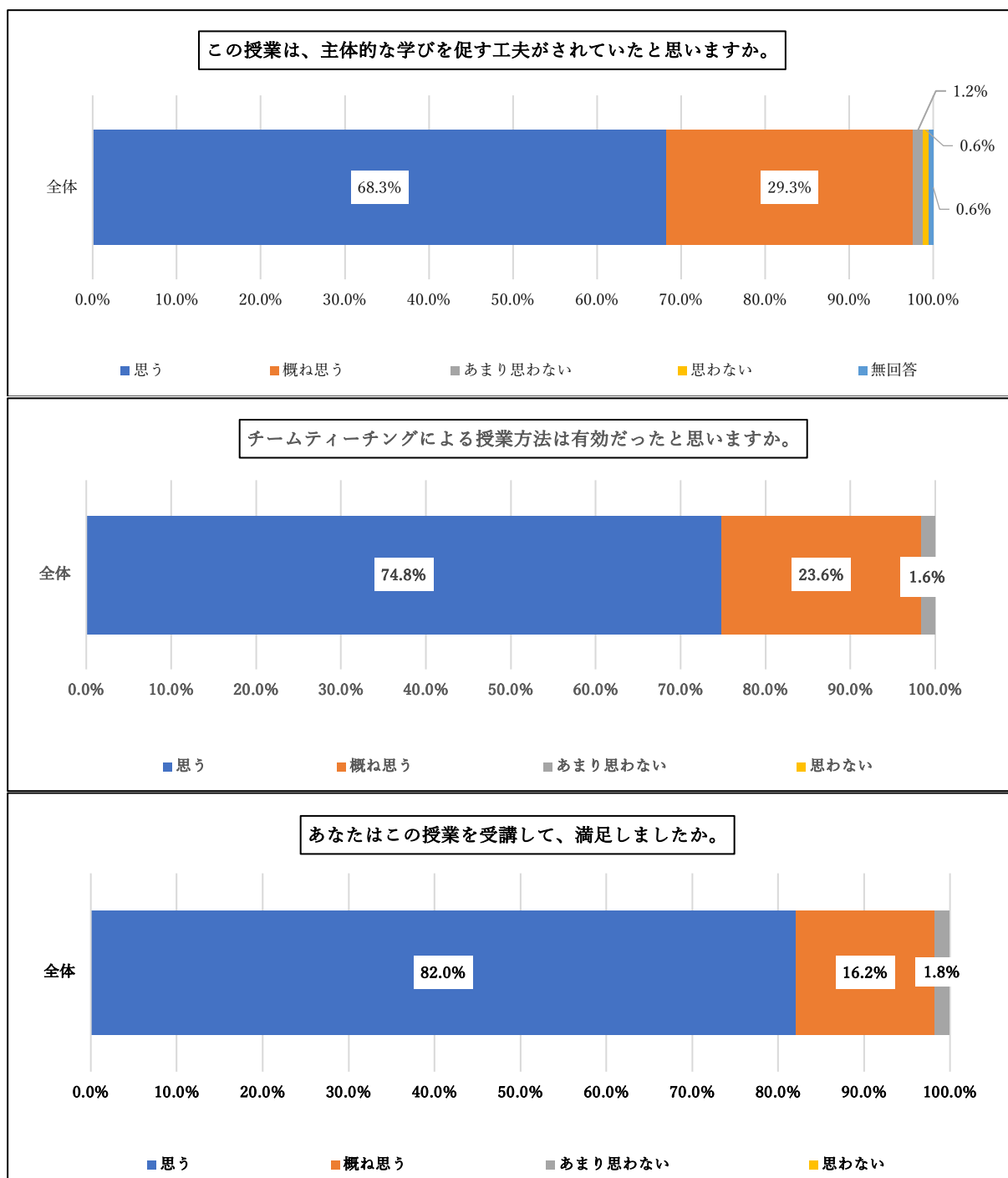




「授業内容について」の上記5項目は、例年、肯定的な回答が9割前後で推移しているが、2023年度春学期は否定的回答の割合がさらに縮減した。新カリキュラムの1年目であり、オンライン受講制度（ハイフレックス授業）の導入や授業内容等が刷新された科目もある中で、一部「難しすぎる」との回答が目立った科目もあるが、全体としては例年以上の水準が達成されていると言える。なお、フィールドワークに関する項目の「無回答」は、フィールドワークの実施がない科目を含んでいる。

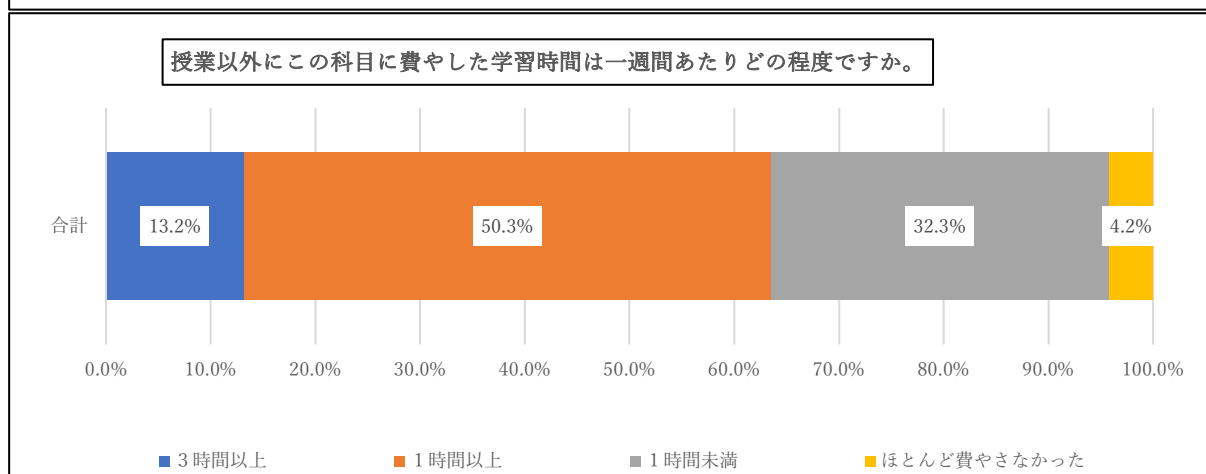
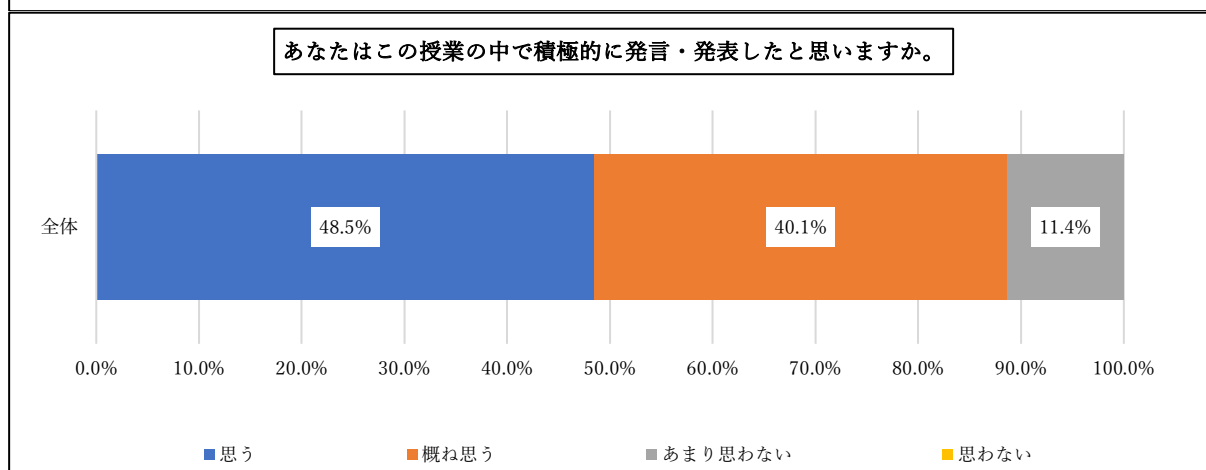
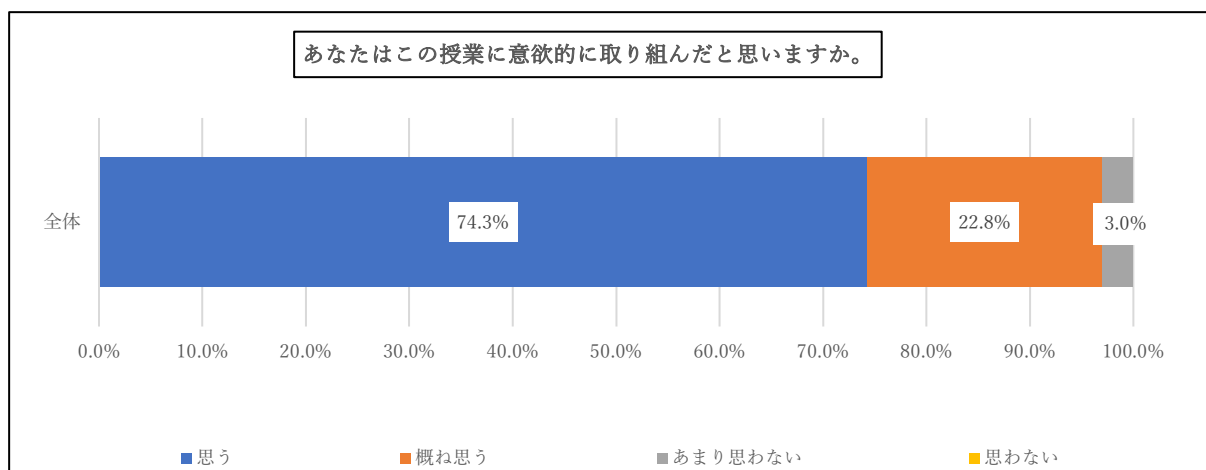
(2) 授業の進め方について

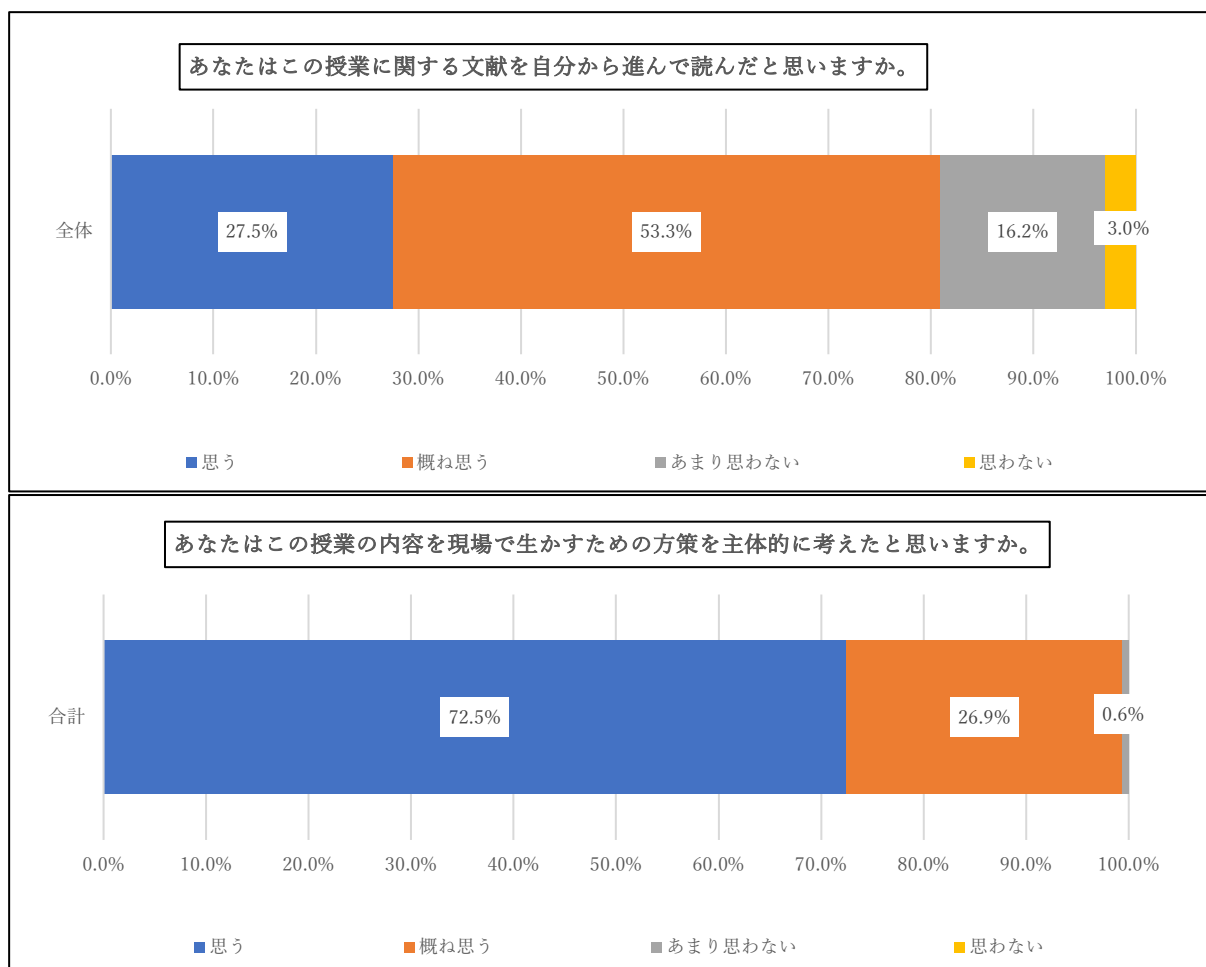




「授業の進め方について」の上記4項目も、肯定的な回答の割合が9割以上の水準となった。特にチームティーチングの有効性に関する設問では、昨年度までの推移に照らして改善幅が大きく、否定的回答の割合が縮減した。ただし、科目によっては、担当教員間の役割等について受講生から見た場合のアンバランス等もあるものと思われる。他の設問を含め、最も肯定的な選択肢「思う」の割合のさらなる向上を目指して、各授業科目の展開において一層の工夫が期待される。

(3) 受講生の取組について





「受講生の取組について」の上記5項目では、例年、個人差が大きい状況も一部設問で見られていたが、授業外学習時間に関する設問では「ほとんど費やさなかった」との回答が大幅に縮小し、授業中の発言や文献を自分から読むことについても否定的回答の割合は縮減傾向にある。総合して、意欲的に取り組む受講生が多いと言えるが、今後の課題として、先の設問における「難しすぎる」と回答されたケースなどを含む個人差への対応を念頭においた上で、各科目の実情に応じたより主体的な学びを育むための工夫に努めることが挙げられる。